

マキノ地域の学校再編について(お知らせ)

高島市教育委員会
令和6年7月
NO. 1

高島市教育委員会では、「高島市小中学校再編基本方針(案)」を作成し、7月4日(木)、6日(土)には、マキノ地域の小学校、こども園の保護者の皆さまを対象に説明会を開催させていただきました。また、7月8日(月)にはアンケート調査へのご協力をお願いしました。さらには、7月10日(水)には、マキノ地域の区長・自治会長会でも説明させていただきました。

このたびの基本方針(案)は、マキノの3つの小学校を1校に統合し、マキノ中学校に隣接する新たな校舎を新築し、令和10年4月に「マキノ小学校」(仮称)を開校させていただくという方針(案)であります。

保護者説明会でのおもなご意見およびアンケート調査の結果につきましては、以下のとおりです。

保護者説明会(7/4・7/6)でのご意見・ご質問

基本方針(案)に対して、具体的なスケジュールや新設の学校施設、通学手段、統合に向けた取り組みなどにご質問やご意見がほとんどであり、中には明確に賛成の意思を示されて質問、意見を示される方もおられました。説明会でいただきました主なご質問やご意見は「○」で、それに対して教育委員会からお答えしたことは「→」で表しています。

- マキノ中学校に隣接予定の新校舎には、体育館や特別教室などもつくるのですか？
→ 新校舎の施設や設備については、今後色々なご意見を聞きながら設計していくこととなります。教育課程に必要な特別教室や体育の授業を行う場所の確保等は当然のことと考えています。詳しくは、今後検討していくこととなります。
- 小中学校が隣接することについて、同じ通学路を利用することが想定されるが、小学生は徒歩通学、中学生は自転車通学となり、安全面が心配です。
→ 新設時期の各地域に在籍する児童生徒数を把握して、安全な通学について、今後検討する必要がありますと考えています。
- 令和10年4月を目途に統合するという話であるが、地域の方が再編に反対した場合は計画が延期になるのか。また、延期される場合はどれぐらいの期間の延期となるのか伺いたい。
→ 地域の方から反対があった場合、教育委員会としては子どもたちの教育環境を最優先に考えており、保護者の方々のご意見を第一に受け止めさせていただき、判断していきたいと考えています。その上で、地域の方のご意見を参考にさせていただきたいと考えています。
学校施設の新設については、令和7年度に実施設計をすることになるため、今後、保護者の方や地域の方の意見を反映する方向で考えています。さらに、実施設計が整うと令和8年から9年にかけて2年間ほどの期間をかけて工事を行うことになり、場合によっては中学校の一部改修を行う可能性もあるため、これらを踏まえると令和10年4月開校のスケジュールは、スピード感をもって開校できる最速の日程であると考えています。
また、統合して開校する新小学校の準備として、校歌や校章をどうするのか、通学路をどうするのか、コミュニティバスを使うのかといったことを検討する時間が必要になります。できるだけ早い段階でご理解をいただき、迅速に計画を進めていきたいと考えています。

- マキノの3小学校が閉校になるとの方針だが、できれば地域に開いた形で学校施設を残してもらいたい気持ちがあり、市の方で継続的な管理予算を組んでもらうなど、具体的な案を持って地域の説明会に臨んでもらいたい。
 - 小学校を閉校してからの跡地利用に関して具体的な案は今のところありません。学校は地域コミュニティの拠点であり、災害時の避難所でもある現状は認識しています。その上で、令和10年4月までの3年間という時間の中で、地域の方と一緒にこういった形で利用していくのか検討していきたいと考えています。また、閉校後の利用が決まるまでの間については、市の方で責任をもって管理していくことになると考えています。
- 学校からの距離が遠い場所に住んでいる子どもたちはバス通学になると思うが、公共交通機関を利用する場合は運賃を負担しなければならないのか、バスの手配等していただけるのか伺いたい。
 - これまでからバス通学に要する費用は全て市で負担しています。バス等の交通手段の確保については、今後検討していきます。
- マキノ東小学校は、自然教室で毎年5年生と6年生がカヤックに乗る活動があります。そういったものが今後途絶えていくのかなと思うと残念だなということを感じています。
 - 今まで積み上げられたものを大事にしていかなければならないと考えています。今後の準備期間の中で、カリキュラムや行事について継続可能かどうかは考えていく必要があります。カヤックなどの活動への思いは、今後の学校の統合に向けた取り組みや計画づくりの中で生かしていけたらと思いますので、ご意見として頂戴いたします。
- これから閉校する学校図書館の本は、新しい学校の図書館に移動されることになるのか。
 - 閉校する学校の備品は最大限有効活用できるよう努めていきたいと考えています。使えるものについては移転して使っていくのが現実的であり、よりよい教育環境づくりのために工夫すべきことだと考えています。
- 方針案にあるマキノ小・中学校は高島学園のような小中一貫教育校のイメージになる案だと思うが、高島学園のよいところを教えてください。
 - 小中一貫教育校のメリットは、校舎が隣接することで異学年の交流が盛んになることです。例えば、中学校の文化祭に小学校5・6年生が参加して一緒に歌を歌うこともありますし、中学校の体育祭に小学生が参加するといった交流もあります。また、教職員の意識として、小学校と中学校が連携して子どもたちを9年かけて育てようという一体感も生まれています。
- 高島学園でも広範囲から通学していると思うが、バス通学の状況を知りたい。また、小学生は制服を着ているのか知りたい。
 - 高島小中学校はマイクロバスを含め4台稼働していて、小学生の約6割がバス通学をしています。小中学生の通学定期代については、保護者負担ではなく、全て市が負担しています。
 - 中学生は制服ですが、小学生は普段の服装で通学しています。
- 子どもたちにとっては学校統合によって大きく環境が変わるため、統合してからうまく馴染めるように準備期間で小学校同士の交流機会づくりなどに取り組んでももらえたらいいと思います。
 - 子どもたちにとって、学校統合への準備期間、助走期間が必要であるということについては同感です。今回の方針案や計画が進むことになれば、交流する機会づくりなどに力を入れていきたいと考えています。

(次ページに続く)

小学校・こども園の保護者の方々を対象としたアンケート調査の結果

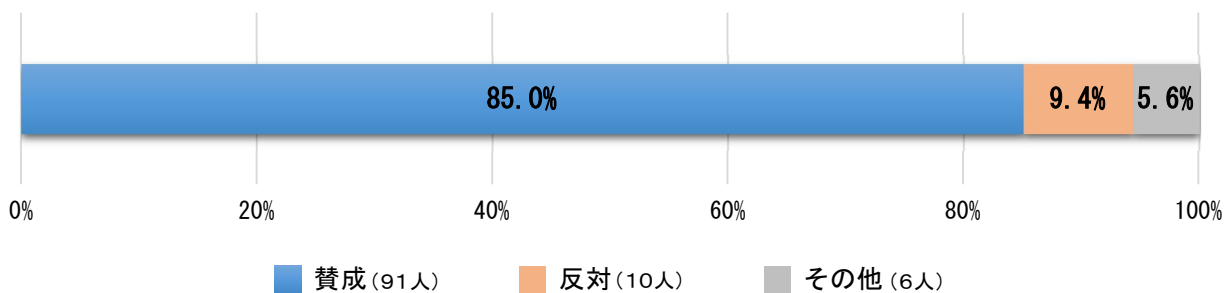
「賛成」と回答した方は全体の85.0%（91人）となりました。「今後の児童数の推移を考えると統合はやむを得ない。」「複式学級はさきたい。」といった意見が多くありました。

「反対」や「どちらでもない」と回答した方の中には、「統合はやむを得ないが、校舎を新築する必要があるのか。」といった意見もありました。また、統合後のバス通学や環境の変化等を心配される方もありました。以下、アンケート調査結果の集計とおもなご意見を掲載します。

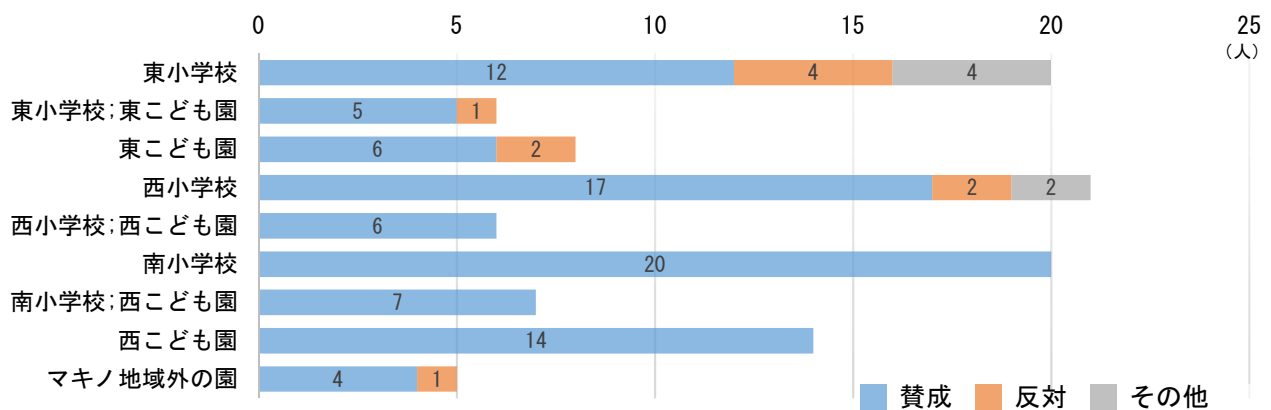
【調査概要】

- 1 アンケート実施時期 令和6年7月
- 2 対象者 マキノ地域在住の保護者（マキノ東小学校、マキノ西小学校、マキノ南小学校、マキノ東こども園、マキノ西こども園、他のこども園等）
- 3 対象者数（保護者世帯数） 167名
- 4 アンケート回答者数 107名
- 5 回答率 64%

マキノ地域3小学校の統合案へ賛否



マキノ地域3小学校の統合案への賛否（学校・園別）



「賛成」と回答された方のご意見（その1）

- ・ 今後の児童数を考えると統合が妥当。複式学級は絶対に避けていただきたい。統合するのであれば学校新築はベスト。
- ・ 各小学校で取り組まれてきた独自の活動が再編によってなくなるのは寂しい。子どもたちは現高学年がしているカヤックを自分たちも高学年へあがったらと思っている。グラウンドや体育館は中学校と共有にならない方がよい。
- ・ 複式学級になるより、統合されて同学年の子と授業が受けられるほうがよい。こども園も1つになるし、中学校も1つなので、小学校も1つでいいと思う。

「賛成」と回答された方のご意見（その2）

- ・少ない人数でしっかりと見てもらえるのもいいですが、いっぱい友だちを作り、競争心も成長していけたらいいと思います。気の合う友だちもできると良いと思います。
- ・各校ともに児童生徒数が減り、集団の中で人間関係形成のためにも学年の児童数は少しでも多い方がいいと考えるため。
- ・適正な人数での授業がなされ、またそのことによる多様な課外活動の幅が広がることを期待します。
- ・ここまで人数が減り複式学級が増えてくると、しょうがないように思います。
- ・資料で示されている以外に、実際にはクラスで女児1人であったり、男児1人であったりというクラスがあり、現時点で多くの支障をきたしています。1日も早い統合を望みます。
- ・沢山の子どもたちの中で刺激しあう事によって成長していけると思う。

「反対」と回答された方のご意見

- ・通学面の話し合いが必要。少人数のメリットが無くなる。児童数が増える事により活動出来る事が増え、経験出来る範囲広がると思うが、今の環境を変える事に抵抗があり、新しい事に対応することが難しいと思われる。
- ・まず新設することが疑問。新設して統合する資金があるのなら、それぞれに特色のある各小学校を運営することに活かしてほしい。3校の特色や地域性は保持してほしい。
- ・中学校も1クラスずつになり空き教室が増えるにもかかわらず新設するのはもったいない。近い将来に人数が減り小学校自体の存続もあやしいのに新設にお金をかけるのではなく、あるものを有効に使うことが大切だと思う。

「その他」と回答された方のご意見

- ・「賛成・反対のどちらでもない。」子どもの人数が少ない為、統合は避けられないと思うが少人数だからこそ手厚い教育が受けられたのでそこに関しては残念です。
- ・「統合には賛成、新設には反対。」3小学校の統合は賛成だが、新設する必要があるのか？3小学校のうちいずれかの校舎を使用するか、中学校の校舎を一緒に使えないのか。中学校も教室が余ってくるはず。

その他、基本方針（案）の内容についてのご意見

- ・統合には大賛成で、新校舎での生活、楽しみにしています。
- ・できるだけ早く統合してほしいです。
- ・再編にあたり、子どもが楽しく通えるような雰囲気や、より多様性を認め合えるような学校となることを強く希望します。また、保護者や地域の方々が積極的に関われ、一緒に雰囲気を作り上げられる学校であるといいなあと思います。

今後の予定 「高島市小中学校再編基本方針（案）」に関するパブリックコメント（意見募集）

令和6年7月31日（水）～8月30日（金） 高島市ホームページ・市役所・各支所にて

子どもたちにとってよりよい教育環境を整えるため、基本方針（案）に沿って、マキノ地域の方々のご理解を得て、学校再編を進めてまいりたいと考えております。

ご意見やお問い合わせ等がございましたら、下記担当まで連絡いただければ幸いです。

【担 当】 高島市教育委員会事務局教育総務部 教育総務課（担当：林・平井） TEL：25-8558